庭の楽しみ方　庭に関わる、庭を使う

ランドスケープアーキテクト
アトリエ土里夢代表
越川 秀治

四季の変化を楽しめるということが、庭の最大の魅力ではないだろうか。庭を造る、そしてそれを季節ごとにどう使うか。庭を眺めるということも重要だが、庭に関わるということも、さらに庭の楽しみ方を助長する。庭には心も身体も健康にしてくれる要素がたくさん詰まっている。庭に関わる時間を持ち、庭の使い方を工夫してみよう、庭がぐっと身近になってくるはずだ。ここではわが家の事例を紹介しながら、庭の楽しみ方について考えてみたい。

四季の移ろいを日々楽しめる庭を想像してみよう

わが家の庭には10㍍を超える桜の木々が幾重にも重なって、ちょっとした回廊を形成している。その桜の一つひとつが季節ごとに表情を変え、日々気持ちの良い緑地空間を創出してくれる。毎年やってくる季節に毎回違う感動を覚える。小さな生命との出会い、それは生きている実感を感じさせてくれる瞬間でもある。桜を通して庭を楽しむための「四季ストーリー」を紹介しよう。

春

3月、桜は河津・大島と花を咲かせ、ウメ、ジンチョウゲ、コブシが香を発し、ウグイスが下手な第一声をあげる。樹木の新芽が吹き出しそこから、生命の息吹を感じとる。何か新しいことを始めたくなる。4月、桜は仙台しだれ、染井吉野、南から順に里桜が花をつけ、頭上はピンク色に覆われる。柔らかな光、新鮮な空気が心地よい。樹木からパワーをもらう。5月、桜は花吹雪となり、庭一面が花びらの絨毯(じゅうたん)と化す。メジロ、ホオジロ、シジュウカラが訪れる。草花が一斉開花し、草木の香り、新緑がまぶしい。友人を招こう、庭で過ごす最高の時期だ。

四季折々、表情を変える桜の木々

夏

6月、桜の若葉がサワサワと揺れる、コゲラ、オナガ、ムクドリ―木々の間を野鳥が飛び交う。果樹の収穫期だ。緑陰、木漏れ日、優しい風にいつまでも触れていたいと思う。7月、桜には大きな葉が青々と茂り毛虫がたかる。それをヒヨドリ、キジバトが食べにくる。土が太陽熱を吸収し、木陰の天然クーラーで、風通しの良い快適な住環境をつくる。8月、桜の枝葉は大きく広がり、日傘になる。桜の幹はセミのコーラスの舞台となる。クワガタ、カブト、トカゲ、カエル、ヘビが出現し、豊富な餌を求めて生き物は活発に動く。同時に雑草と蚊に悩む。

秋

9月、桜の枯れ枝が強風に吹かれ、折れ落ちる。十月桜が落葉し始め、ヒグラシが鳴く。時おり吹く秋の風に、樹木の葉も実も少しずつ黄色みがかってくる。10月、桜の葉は大島桜、しだれ桜と徐々に色づき、十月桜が咲き始める。この頃からキンモクセイが香りを放つ。果樹の収穫だ。木の実を目当てにツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、リスがやってくる。11月、桜の紅葉は里桜が主役だ。カキ、モミジ、ハゼ、ミズキ、カシワ、最後にイチョウの葉色が変わる。自然色のグラデーション、虫の音も美しい。柔らかな風と光に包まれ、ハンモックに揺られてついウトウトする。

冬

12月、桜は全て葉を落とす。地面は赤、黄、橙(だいだい)、茶色の枯れ葉の絨毯。掃除が楽しい。サザンカ、ツワブキの花が咲く。落葉を踏む音が響く中で、まき集め、冬支度に入る。1月、桜の木は丸裸となり樹形、幹肌があらわになる。ユズ、レモン、キンカンの黄色い実が目立つ。長く伸びた落葉樹の枝の間に青い空を臨む。木枯らしが吹いてくる時期だ。2月、桜の木立の間から遠くの景色を眺める。澄み切った空気だからこそ美しい。柔らかな日差し、ミモザやロウバイが咲き始めると、春の訪れを感じる。

ハンモックは庭遊びの必須アイテム

四季を通して〝心地良さ〟を引き出す方法を見いだそう

人間が心地よいと思う瞬間は、五感でそれを感じ取っている時である。庭に出て目を閉じ、五感を研ぎすましてみよう。草花の香りや新緑、風や光の感触、水音や虫の音、鳥のさえずりなど、庭には四季折々の心地よい要素が満載していることに気づく。ちょっとした工夫で心地よさを引き出すことのできる方法を紹介しよう。

手間いらずで楽しめる宿根草ガーデン

①育てやすく四季を実感できる樹木を植える

四季を彩る樹木の基本は、花が咲き、実をつけ、紅葉し、冬枯れが美しいこと。花の香りがよい、実が食べられるという付加価値に加え、自然樹形のままで剪定(せんてい)いらず、病害虫にも強い、ヤマボウシ、ヒメシャラなど雑木に代表される落葉広葉樹が好ましい。常緑樹ならハイノキ、ソヨゴなど成長の遅いものは管理も楽であり、株立ちの樹木は自然の景観をつくり出すのに最適である。

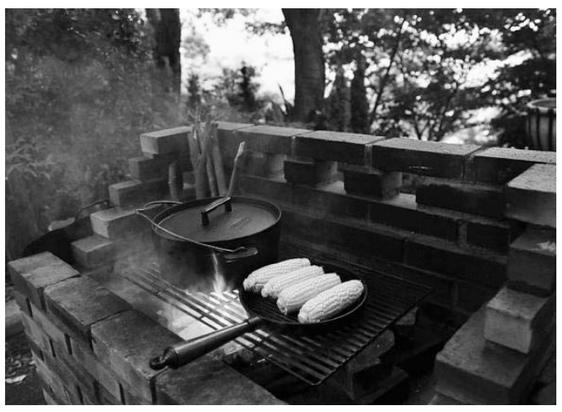
②一年中手間いらずで愛らしい宿根草を楽しむ

四季折々に美しい庭を維持できる宿根草ガーデンは忙しい人の強い味方である。手間いらずの究極手抜きガーデン。ヤブラン、ツワブキ、アガパンサスなどの常緑宿根草は樹木の株元に添えたり、花壇の縁取りやボーダーガーデンとして扱っても良し。ギボウシ、ツボサンゴ、エビネなど落葉宿根草はスイセン、サフランなど球根類と併せて庭のアクセントにも効果的である。

③落葉広葉樹の機能をうまく使う

庭木の割合は落葉樹と常緑樹で7対3が基本である。落葉樹ばかりだと冬は寂しく、常緑樹が多いと暗く季節感も薄れる。例えば南東面に落葉樹を配置しよう。夏場は樹木の蒸散作用で涼感をつくり、日差しを遮るための緑陰装置となる。冬場は葉を落とせば心地よい光を届けてくれる。

株元から細い幹が重なって縦に伸びる特性の株立ちの木は、光を柔らかく取り込み分散させて、木もれ日を導く。カキやバラ科の果樹（ウメ、アンズ、スモモ、ザクロなど）との組み合わせも緑陰の庭づくりには最適である。小さく抑えて仕立てた、広がり枝と大きめの葉は最適な緑陰を生み出し、心地よい木もれ日が楽しめる。


バーベキュー炉で野外料理を披露する

秋だ！　自然の恵みから元気をもらおう

筆者は一年のうちで秋が一番好きな季節である。それはヤブ蚊と雑草に悩まされる過酷な夏の管理作業を乗り越え、その直後にやってくる最高に心地よい季節だからだ。夏さえ過ぎれば心地よい秋、澄みわたる冬、心浮き立つ春が連続して楽しめる。庭の使い方、過ごし方、関わり方、秋は全てにおいて充実している。ここではわが家の秋の庭遊び定番メニューを紹介したい。

わが家は何かとテーマを決めては一年中「ガーデンパーティー」を開いている。とりわけ秋はパーティーのシーズンだ。自家製バーベキュー炉で旬の野外料理を披露する。その場でもぎたての果樹や摘みたてのハーブを振る舞う。愛情の手料理、こだわりの逸品、自慢の郷土料理と飲み物は各自持ち寄りで、気の合う仲間を呼んで、秋の一日をみどりの下でまったりと過ごす。お金をかける必要はない。それでも心豊かな時間は過ごせるのだ。

秋は菜園活動の初動期でもある。夏野菜で疲弊した土壌を改良し直し、自家製コンポストを使用し秋冬野菜づくりの仕込みを始める。虫も少なく、暑さも和らぐこの季節、「今年は何をつくろうか」とワクワクする。パーティーに出せるベビーレタス、ルッコラ、サラダスピナッチ、ミズナなど成長の早い葉もの野菜を中心に、冬場に向けてゴボウ、ニンジン、赤カブなど根菜類の種もまく。育てる楽しみ、採る楽しみ、そしていい汗。菜園作業は心も身体も健康にするのだ。

でき損ないのカキやザクロの果実、広葉樹の木の実や紅葉した葉っぱ、乾燥した自然木などを使って、インテリア小物やクラフトなど、自然素材のアートを楽しめるのも秋が適している。さあ秋だ、庭に出よう！ 自宅の庭で自然の恵みから元気をもらおう。

夜も施工社名が光る　三共がLED照明システム

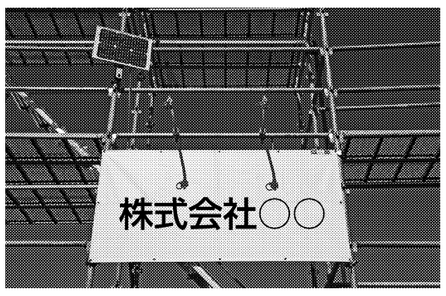
毎日の通勤や休日の散歩の折りに、家々に植えられている季節ごとの木々や花を見るのは楽しみのひとつ。ただ、時にその見慣れた街並みが、取り壊され、新しいモノへと移り変わることがある。残念に思う半面、どの会社がどんな家を建てるのか、と興味が湧くのは自然なこと。家の改築や新築を考えていればなおさらである。そう考えると、意外に建設現場は注目されている。

建築現場の養生シートや仮囲いに社名を大きく記載するのは、大手ハウスメーカーでも広く行われているブランド浸透の試みだ。近年、工事の現場に対する一般の意識は変化し、音やにおいなど環境への影響はもとより、スタッフのマナーから資材の扱い、ゴミの捨て方まで厳しい視線が寄せられる。逆に行き届いた現場は絶好のPRの舞台ともなる。

残念なのは夜の間。ライトアップは、技術的には問題なくとも、その程度は案外難しい。特に宅地では過度の照明は近隣の迷惑となるし、〝電気の無駄遣い〟とでも思われたら、元も子もない。このあたりの呼吸は、現場をよく知る企業でなければつかみにくい。その意味で三共が開発し、先ごろ施工工事付きレンタルを開始した発光ダイオード（LED）照明システム「ソラード」は興味深い存在だ。

太陽光モジュールと蓄電池、LED照明ユニットから構成され、昼間に蓄えた電気で暗くなれば自動的に点灯、企業ロゴやメッセージシートをライトアップする。外部電源や電気代も不要で、現場でのテストを通じ「ちょうど良い過不足ないレベル」（三共）で照らし、不快感を感じないよう留意した。

現場の安全や省力化に向けて製品開発を続けてきた同社があらたな切り口に挑んだきっかけは、仮設機材ユーザーからの「せっかく美化に力を入れた現場をイメージアップする方法はないか」との声だった。さまざまな場所でテストし、取り付け位置や照度などを練り上げた。現物を見た工事関係者からは、夜間の防犯にも効果があるのでは―との声も多かったという。夜間照明に大量の虫が集まる心配も、紫外線光ではないソラードは不要。ユニークな製品の登場で、〝さびしい〟夜の建設現場のイメージが少し変わるかも知れない。



LEDで企業ロゴやメッセージシートをライトアップ

工事現場の防犯にも